

春からはじめる
マイホーム計画

注文住宅



知りたい! お金・間取り・ダンドリ

イマドキ家づくりの 進め方

家族の希望をシートで整理!



家づくり相談
シート

居心地バツグン、家事もラクラク……

幸せキッチンのつくり方

好きをカタチに
外観デザイン40景

住みたい街の相場は?
兵庫の土地価格MAP

心地よい空間で暮らしたい
特集『平屋で暮らす』

価格がわかる
兵庫の実例 **39** 邸



地元の建築会社を訪ねて

匠のココロ

Arts+ (あんじゅホーム)

深見宗久氏

[代表取締役]

この場所に家を建てたい。
だからこそ、選びたいのは
地元の建築会社。
大切なわが家だからこそ、
「この人」に任せたいと思える
人に出会うべく、地元の建築会社で
出会った匠を紹介する

金井さとこ = 構成
edit Satoko Kanai
田澤健一郎 = 取材・文
text Kenichiro Tazawa
Yoko Inoue = 撮影
photography Yoko Inoue

多彩な趣味遍歴をもつ深見さん。今も旅行やボウリング、映画鑑賞を楽しんでいるが、新たにやりたいこともたくさんあるという。「忙しくてなかなかチャレンジできないのですが、スカイダイビングに護摩行、水上スキーなどはやってみたい。好奇心旺盛である

当たり前前のことをちゃんとする その積み重ねが大きな違いに

Arts+（あんじゅホーム）の代表・深見宗久さんは、古い建物を見るのが好きだという。

「遺跡やお寺など、歴史が刻まれた建物を見るのが好きなんです。世界遺産のアンコールワットなどが印象に残っていますね」

実は深見さん、若いころにバックパッカーとして東南アジアを気ままに旅していた時期がある。

「とりあえず飛行機のチケットを買って、あとは現地は何をするか決める。現地でも知り合った人の家に泊めてもらったこともあり。みんないい人たちでしたよ。言葉はあまり通じないんですが、なんとなくわかり合える（笑）」

深見さんの押しが強くないというが、自然体で人に接する雰囲気、相手もつい心を開いてしまうのだろう。ともあれ、そんな行動力で目にした歴史的建造物は、みな年月を経て身にまとった「いい味」を出しているという。

「歴史に残る建物は、細かな部分もきちんと手を抜かずつくっています。また、使う人々、訪れる人々に愛着をもたれていますね」

家も同じだ、という。

「あんじゅホーム」という社名は、**and you**、お客様と一緒に家

をつくる、という意味が込められているんです。たとえば打ち合わせだって、家づくりの大切な思い出。これもまた愛着につながると思っただけです。

細かな部分も手を抜かない、というのもそう。家づくりで「一番こだわっているポイント」は「家のためにならないことはしない」と「見えないところこそ、しっかりつくる」こと。

「数千円の家でも、突き詰めれば釘一本、板一枚からできています。釘をちゃんと打つのは当たり前だけど、その当たり前ができていない家もあるんですよ」

実は深見さん、注文住宅を手がける前に、リフォームをメインの仕事にしていた時期があった。

「古い家をたくさん触っていたので、家はこうなったらマズいな、というケースを学びました。だからこそ、わが社では大工さんに釘の打ち方も指示しています。釘一本、板一枚をちゃんと施工する。当たり前前のことを馬鹿みたいにちゃんとすること。その積み重ねが大きな違いになるのだと思います」

それは仕事に厳しい大工だった先代社長から続く伝統。ちなみにリフォームの経験では、長持ちする

る住宅は、素材を水や湿気から守ることも大事だと思いがちです。「阪神淡路大震災でも、倒壊した家屋の多くは土台が腐っていた家でした。腐るのは水や湿気がまわっているからです。そこがしっかりしている家は大きな被害を免れたケースも多かったんですよ」

バックパッカーのエピソードもそうだが、基本的に凝り性とのこと。テニス、ビリヤード、映画鑑賞、ボウリングといった趣味遍歴、どれもやり出したら止まらなかった。きつと、リフォームについてもそうだったのだろう。いわゆるリフォームという手法がより広がったのは、2000年代以降。リフォームから新築の家づくりという過程を歩んだ深見さんは、ある意味で現代的なつくり手のようにも思えた。前述の古い家を触った経験など、まさにリフォーム発のつくり手の強みだろう。

「リフォームはゼロからつくるわけではないので制約が多いんですよ。希望をかなえたり、問題を解決するには工夫も必要でしたね」

釘一本から大事にする技術へのこだわりと、リフォームを手がけてきた経験。その両輪が、深見さんの家づくりを支えている。

匠のココロを深掘る、5つの質問

- Q1** 仕事をする上で、一番大切にしていることは何ですか？
- A** 家を建てるということでは、長く住み継いだときにどうなるかを一番に考えています
- Q2** 家の中で一番好きな場所とその理由を教えてください
- A** 家族が集える唯一の場所としてのリビング
- Q3** 座右の銘、大切にしている言葉、好きな言葉があれば教えてください
- A** 「仕事は真面目に真剣に一生懸命に」。あんじゅホームのモットーであり、大工出身である会長の高橋武雄が師匠から受け継いでいる言葉です
- Q4** 尊敬する人物、あるいは好きな歴史上の人物、偉人を教えてください
- A** 本田宗一郎。影響を受けたという意味では会長の高橋
- Q5** 今の夢は何ですか？
- A** あんじゅホームが神戸で一番安心できる建築会社と言われるようになること。規模ではなく、建てたい建築会社として認知されたいです



ふかみ・むねひさ ● 1972年生まれ、兵庫県神戸市出身。大学卒業後、ゼネコン勤務を経て家業のガラス会社に入社。介護施設のリフォーム事業などを手がける。2001年、先代社長と父があんじゅホームを創業、同時に入社。注文住宅事業を手がけ2011年より現職

社名 Arts+（あんじゅホーム）
住所 神戸市灘区灘南通3-4-20
電話 0120-807-418
HP <http://www.sumai-jp.com>

子育て中の共働き夫婦が建てた ちょうどいい距離の二世帯住宅

Tさん家族が

で建てた家

家族構成：夫婦＋子ども1人＋両親

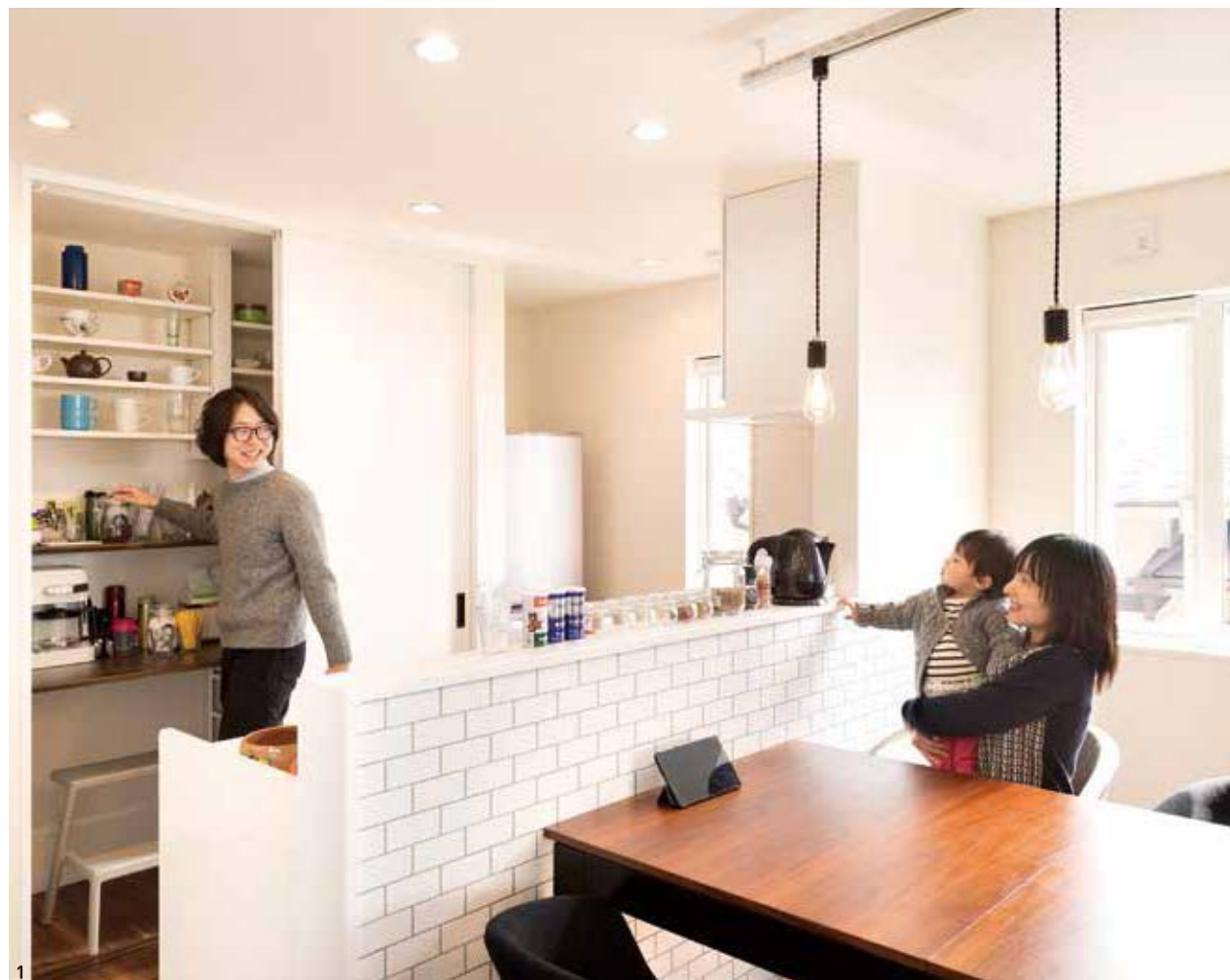
建築会社の決め手

子どものことを考えて二世帯住宅にしたのですが、どう進めたらいいのかわからなかったところ、あんじゅホームさんを知りました。二世帯や多世帯が暮らす家が豊富で、細かな提案がたくさんありましたね。

完成した家の特徴

見学した施工例が自分たちの好きなテイストでしたので、家づくりの参考になりましたね。カフェ風のキッチンや、スチール階段、ガルバリウム鋼板を使った外観など、わが家にも採り入れました。

- [延床面積] 171.41㎡ (51.8坪)
- [敷地面積] 215.10㎡ (65.0坪)
- [工法・構造] 木造軸組工法
- [竣工年月] 2016年12月
- [所在地] 兵庫県神戸市



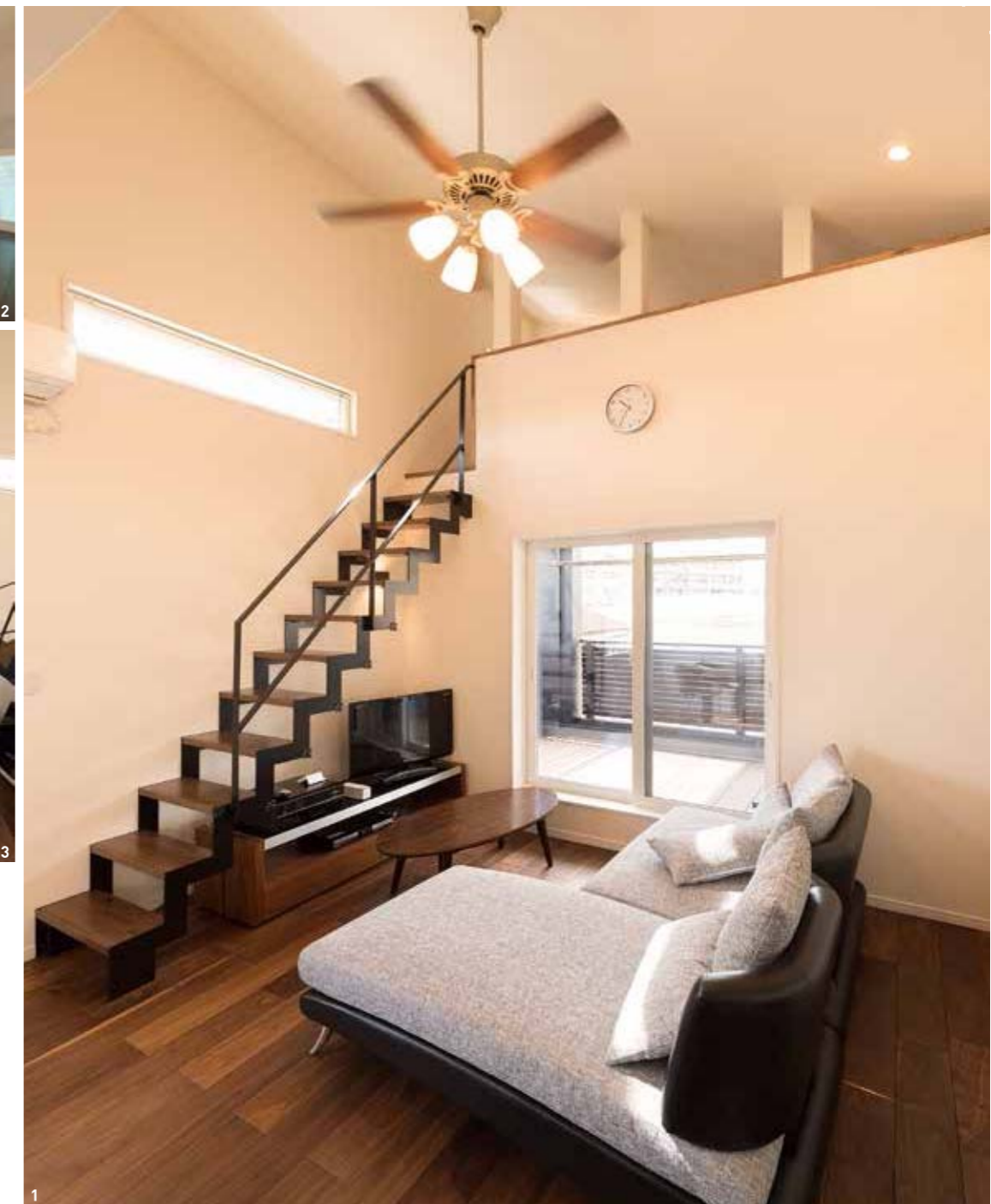
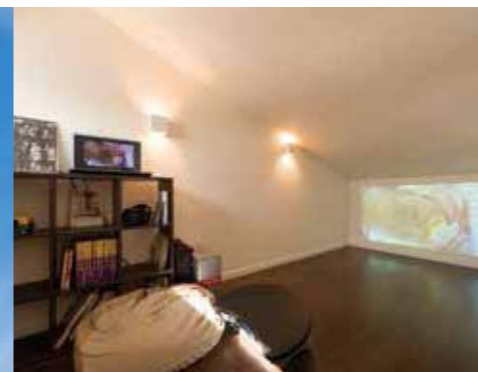
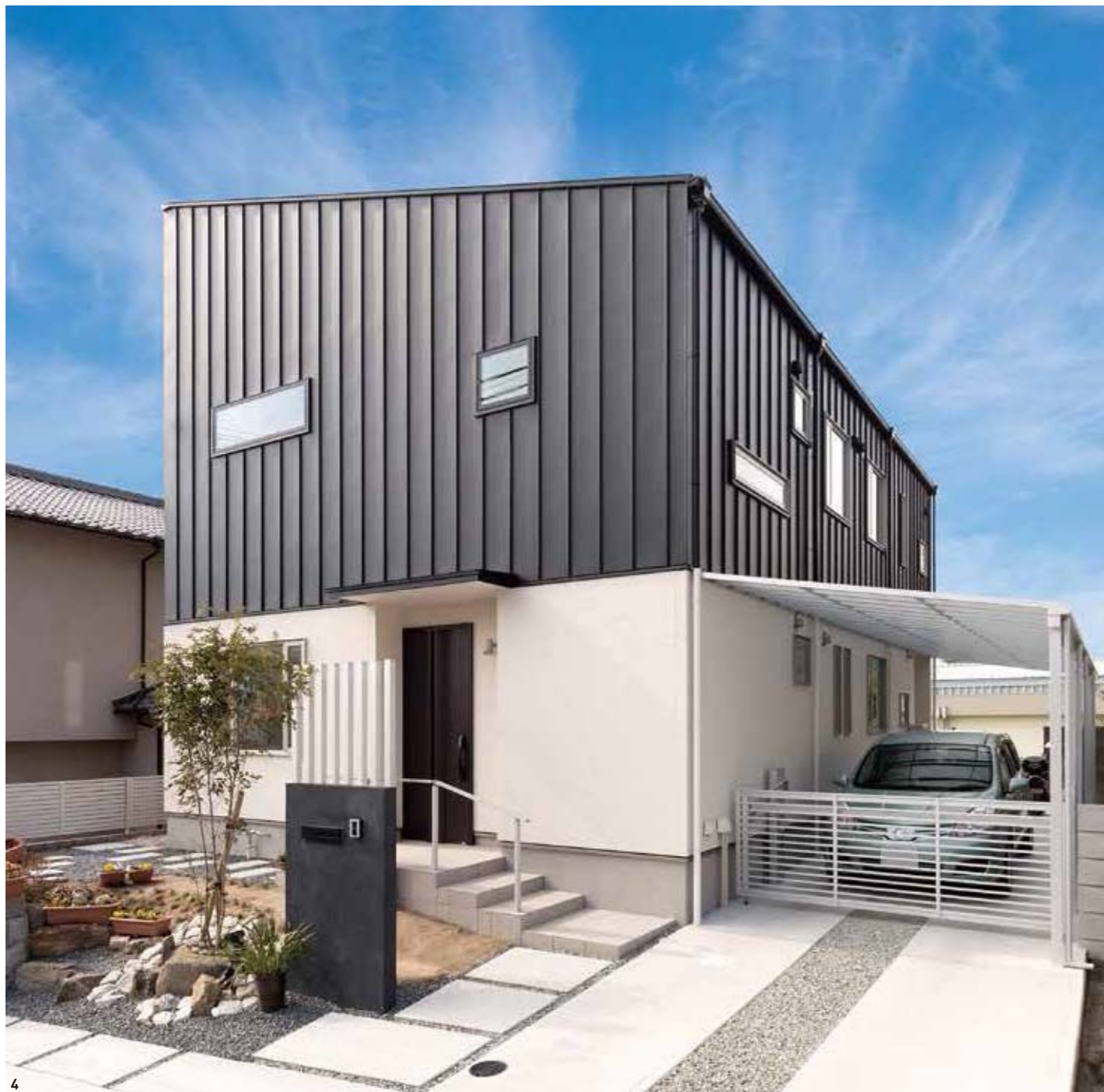
1／完成したのは、1階は親世帯、2階は子ども世帯とフロアごとに生活空間を分けた、気兼ねなく暮らせる二世帯住宅。休日はカフェ風に設えたキッチンで、スパイスの調べからこだわりのカレーを手づくりしたり、おいしいコーヒーを楽しんでいるそうだ 2、3／夜景が楽しめるように窓付きのロフトも実現。天井の高い開放感いっぱいの空間となった

FREE 0120-807-418

正式社名 (株) あんじゅホーム
住所 兵庫県神戸市灘区灘南通3丁目4-20
TEL 078-802-2768
URL <http://www.sumai-jp.com>



庭づくりやエクステリアもトータルでコーディネート。街でもひときわ目立つ印象に
片流れの勾配屋根に、ガルバリウム鋼板とサイディングを合わせたシャープな外観



1/玄関は一つだが、1階は両親、2階は子ども世帯と生活空間を分けて設計。友人たちを招いてワイワイ過ごす際は鍵をかけることもできるなどプライバシーにも配慮した。「せっかくなら夜景も楽しみたいよね」といった会話から誕生した、勾配屋根部分をロフトにするアイデアや、天井の高い吹抜けリビングなど、開放感いっぱいの空間になった 2/ロフトは白い壁をプロジェクター代わりにしたシアタールームとしても活用 3/機能性に優れた断熱材をみっちり施工。大きな吹抜けがあっても、真冬でもエアコン1台で快適に過ごせたそうだ（見開きで使用した写真はすべてT氏邸）

4/成熟した街ではひととき目立つ、ガルバリウム鋼板とサイディングを合わせたカッコイイ佇まいのTさんのお家 5/ほっこり落ち着くカフェ風のキッチンが完成 6/1階はご両親の生活空間。今年の雛祭りには、嫁いだ姉家族も子どもを連れて帰省し、和室とつながる広いリビング・ダイニングを舞台に、楽しく賑やかに過ごされたそうだ

長く住むことを考えた造りと丁寧さで 紹介が紹介を呼ぶ、地元密着型

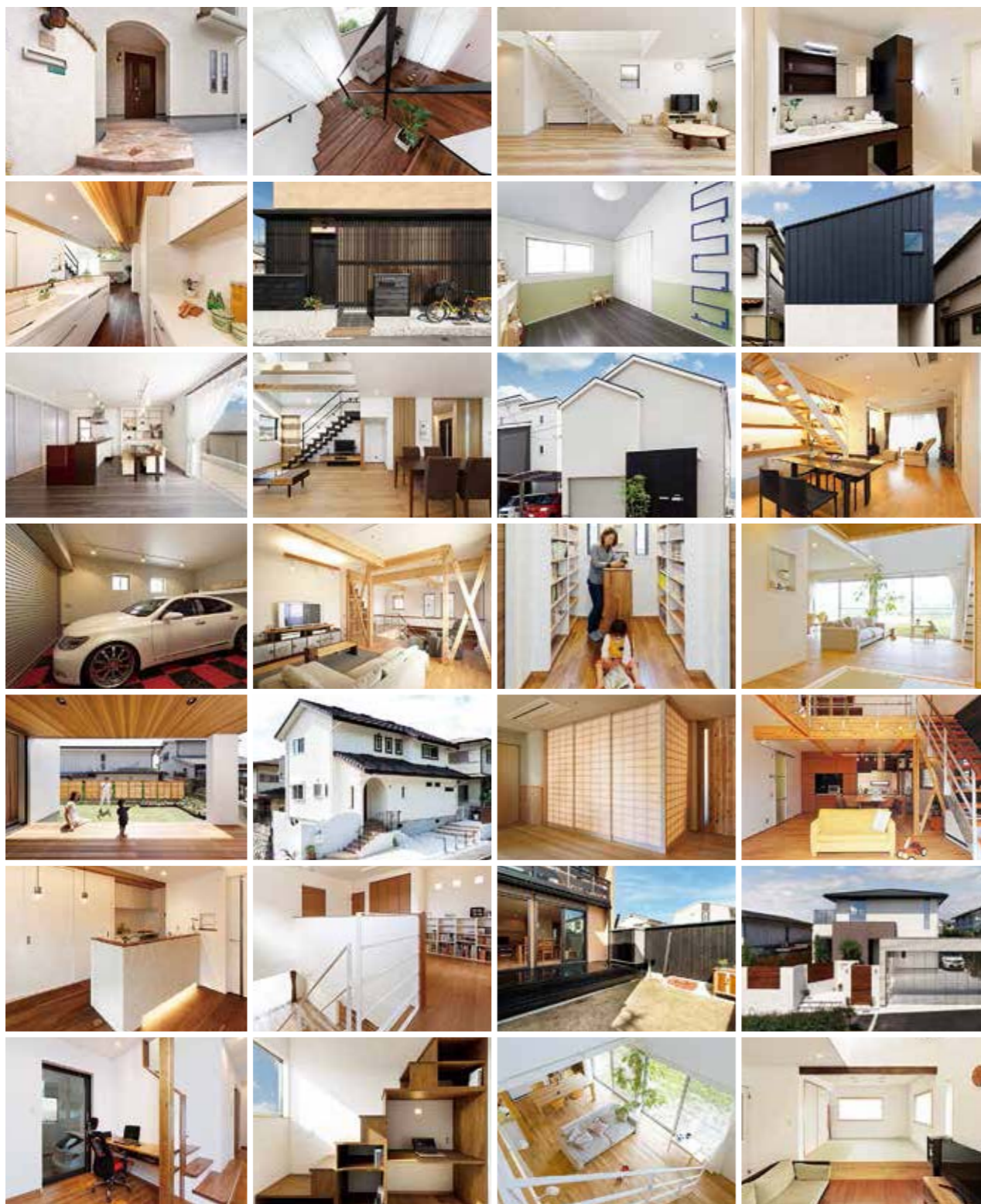
Tさんが同社を知ったのは、お隣も同社で建てていたから。「両親が見学させてもらったから、「これはいいぞ」と。私たちもいろいろ見て検討し、会長の著書も読みました。あんじゅホームさんに相談するようになってからは、他は見なくなりましたね」。

スチール階段、カフェ風の対面キッチン、ガルバリウムを使った外観など、見学した施工例のデザインもたくさん採り入れた。「子どものことや食事の支度を両親がフォローしてくれる二世帯住宅はいいですね。玄関は一つですが、友人たちと気兼ねなく騒げるように独立性を高める工夫も。そんな要望も細かく聞いてくれ、最適な方法を提案してくれるので助かりました」。そう語るTさんの満足度はかなりのもの。紹介が紹介を呼ぶ会社だけのことはある。まずは資料を取り寄せて、そして見学会にも参加してみよう。

**二世帯住宅の実績豊富
設計・施工、アフターまで
考えた満足感で選ぶなら**

[得意なテーマ]

- ▶ 通風・採光
- ▶ 収納・家事ラク
- ▶ デザイン
- ▶ 自然素材
- ▶ 耐震・免震・制震
- ▶ 高気密・高断熱
- ▶ 省エネ・創エネ
- ▶ 1000万円台
- ▶ 人柄・迅速な対応
- ▶ アフターサービス



日当たりが気になる立地での建築も、収納豊富な家事ラクの家も、ガレージハウスも得意。シンプルあり、ナチュラルあり、和風あり、洋風あり。多彩なデザインバリエーションは施工への自信の証。一部一部、施主の要望をすべて受け止めて、実現できる方法を考えて提案するオーダーメイド住宅だ(このページで使用した写真は全て施工例)

Company Data | 会社情報 |

〈得意な施工価格帯〉

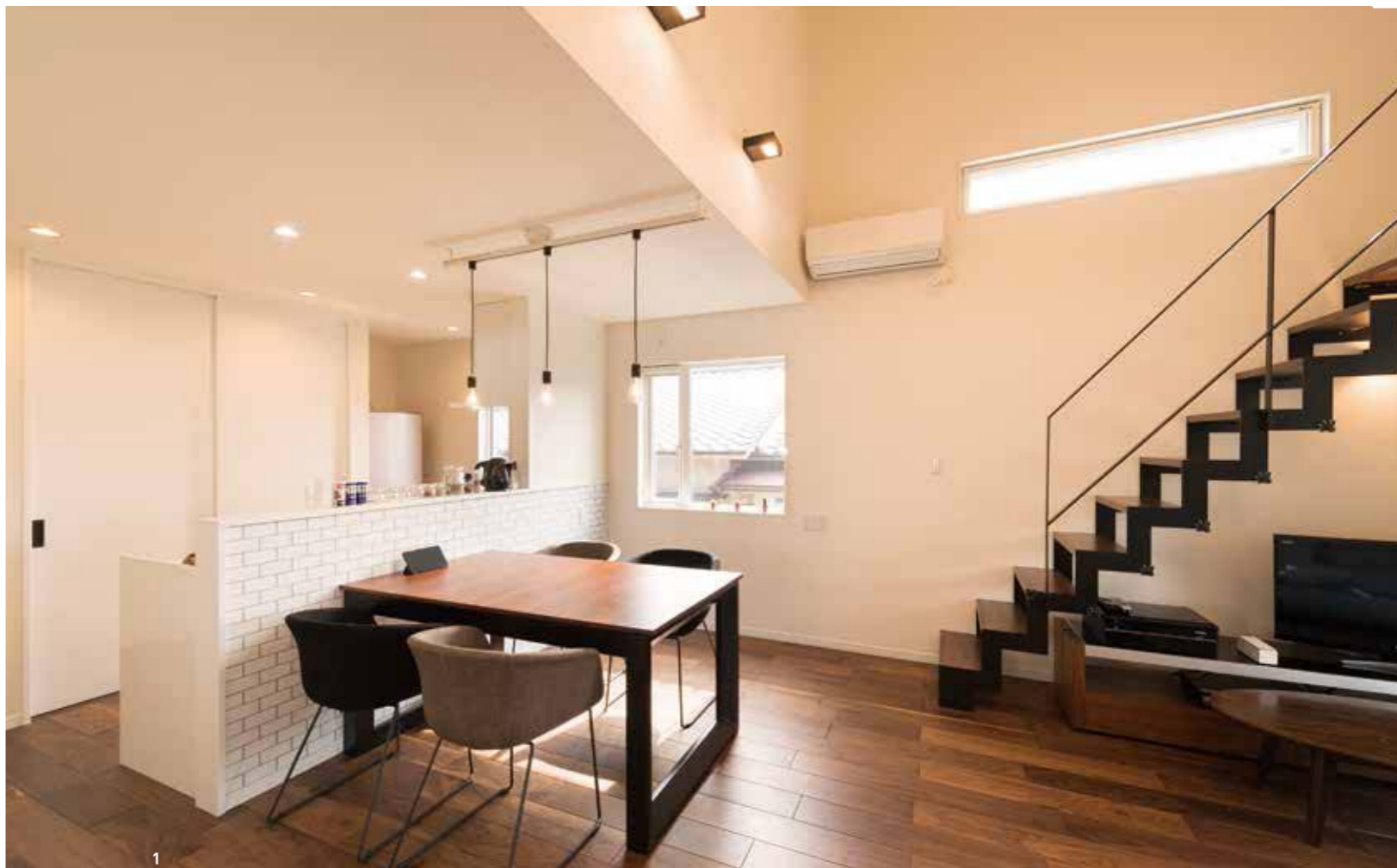


※兵庫県神戸市・西宮市・芦屋市・明石市・三田市・宝塚市・伊丹市・尼崎市など、同社より車で1時間以内の地域

正式社名 (株) あんじゅホーム
住所 兵庫県神戸市灘区灘南通3丁目4-20
TEL 078-802-2768
URL <http://www.sumai-jp.com>

- アフター保証
- 住宅保証機構(株)による住宅瑕疵担保責任保険
- 地震保証(20年)
- 無料定期点検
- 引き渡し後2年間は、お客様に過失がない不具合が生じた場合、その修理費用は一切不要
- 会社概要
- (設立) 2001年9月(創業1959年)《資本金》1000万円(従業員数)15名
- 《対応可能工法》木造軸組・WB工法(木造軸組)・SE構法(木造軸組)
- 《施工実績》26棟(2015年度)《施工エリア》兵庫県神戸市・西宮市・芦屋市・明石市・三田市・宝塚市・伊丹市・尼崎市など、同社より車で1時間以内の地域(建設業許可番号)兵庫県知事許可(般-23)第113740号(宅建業免許番号)兵庫県知事免許(3)第10764号

電話をする
FREE 0120-807-418



1/「以前の家はとても寒かったので、両親も今回の新築をとても喜んでくれています」と笑顔のTさん。親も子も快適で幸せに暮らせる二世帯住宅が完成し、大満足だ。2、3ノ洗濯を干す、取り込む、アイロンをかけて仕舞う、という一連の動作がスムーズ。ウォークインクローゼットも実現、家事ラクの動線や収納にもこだわった。4ノ腕のいい職人がカップボードまで造作。扉を開ればスッキリとした印象に(このページの写真はすべてT氏邸)



4 3 2 構造も見て、家をまるごと理解しよう

Event

完成した状態も、建築途中も両方見ておこう

定期的に完成見学会を開催。参加者には構造を見学できる機会を用意。完成した状態だけではなく構造まで全部見て検討できるのがArts+流。自信の表れだ。



構造も見て、家をまるごと理解しよう

Point

元請けの責任を全う 耐震も断熱もしっかり

造るのはベテランの職人。だがその経験や知識に甘えず、当社がすべてを把握、全現場を社長がパトロール。木造軸組工法を中心に大空間や大開口が実現するSE構法にも対

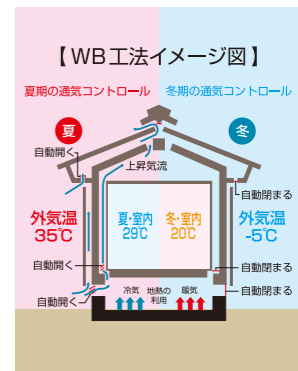
応し、2階建てであっても構造計算を実施。安心して住める耐震性能を備えて提供する。さらに、2つの通気層を持つ構造と透湿性のある部屋壁、自動開閉装置がついた通気口の働きで家中を快適な温度・湿度に調節する通気断熱WB工法にも対応。快適性も追求することができる。



Tさんも参考にされた施工例。自然素材をバランスよく採り入れる方法は必須



大空間や大開口が実現するSE構法



一年を通して快適なWB工法にも対応